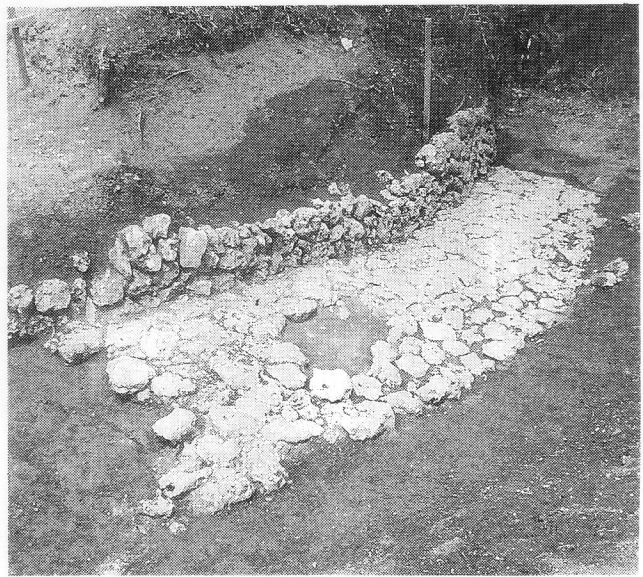


## サーターヤーヌヒラ



サーターヤーヌヒラ



発掘調査で検出されたサーターヤーヌヒラの一部

サーターヤーヌヒラは翁長集落の北側、豊見城南高校から保栄茂集落へと向かう市道19号線沿いにある石畳道のことをいい、登り口付近にサーターヤー（製糖場）があったことからサーターヤーヌヒラとといいます。

石畳道は幅約1m、全長約50mで拳大から人頭大の大きさの琉球石灰岩が敷かれており、復帰前後までは野良仕事や通学路として利用されていましたが時代の流れとともに次第に利用されなくなり、現在では雑草で覆いつくされています。

造られた年代は良くわかりませんが座安小学校が開校した明治41年以前から存在したと言われていました。国道331号線が開通するまでは糸満方面から小禄方面に行くにはこの石畳道を利用したといわれます。

